

高宮商店街振興組合

どんな商店街？

西鉄高宮駅を中心とした半径1km内を商圏とする点在型の商店街です。商圏は5校区(大楠・西高宮・大池・若久・玉川)にまたがり、福岡中心部にアクセスが良く駅前に住宅地が広がります。利便性が良い分、特に若者は福岡中心部での消費が多くみられ、来街者は生活必需品を購入するのが主な目的です。地元自治協議会と餅つき大会の共同開催や青色パトロールカーでの巡回業務等で連携しています。



第10回チャリティー観月祭&D★Eウォーク (D:ドリンク・E:イートの略)

地域の活性化と加盟店のPR・来客等を回復させるために

1. 商店街の課題

コロナ禍で低迷していた人出や消費が回復傾向にある中、早急に以前の状況に回復させるための、**にぎわいの創出・活性化が必要**です。また、イベントの増加や定期的・継続的な実施を考えていますが、人材不足により困難な状況です。

2. 「第10回チャリティー観月祭&D★Eウォーク」を開催

【観月祭】 15の加盟店による飲食・遊戯関係の出店と、約11の加盟店や地域団体による舞台で構成。遊戯系の出店や子どもの舞台を増やしたことで、子どもが演技を披露でき、親子で楽しめる祭となった。当日は、西鉄高宮駅の乗降客も多く来場した。

【D★Eウォーク】 18の飲食系加盟店が参加し、1,000円で「ドリンク+料理のお得なセット」を食べ飲み歩きできるスタンプラリーを実施した。利用店数に応じて、抽選で参加店協賛品を景品として進呈。景品は参加店で引換・消費できる物にし、お店を再利用してもらう仕組みとした。



3. 効果があったと思われること

【観月祭】 ・来場者:前年比20%増

・出店の売上:前年比20%増

【D★Eウォーク】 ・利用者数は前年比同程度だったが、応募者数は減少(前年64名→今年54名)

4. 来街者の声・会員さんの声

○来場者の声

・大人も楽しめる内容にして欲しい。

○会員さんの声

・お店に来る常連さんや会員同士、地域住民との情報交換ができた。



舞台でのパフォーマンスを楽しむ方々

5. 反省点や今後の取り組み

【観月祭】 混雑、事故防止のために、市道の歩行者天国としての活用や、近隣の商店街加盟施設(高宮庭園茶寮・高宮八幡宮・最上稻荷常光寺)との回遊型によるイベント開催を模索していきたいです。また、協力団体と親交を深め、イベント内容の充実やスタッフ人員の確保に繋げていきたいです。来場者の声を踏まえて、次年度は舞台構成を前半は子供参加型、後半は大人が観て聴いて楽しめる内容にしていきたいです。

【D★Eウォーク】 福岡市南部商店街連合会が実施する「はしご酒」と連携することで、より効果的なイベントとしていきたいです。検証結果からマンネリ化の傾向が見られたため、マンネリ化解消策として、賞品の当選数の拡充や目玉賞品の新設、物販・サービス系も参加可能なイベント内容にする、などの方法も検討していきたいです。